# kyasual を SLyDIF<sub>I</sub>化してあったまりたい

kyawaway

GitHub: https://github.com/kyawaway

## **How to Setup**

### **Preparation**

- Fork this repository
- install SAT<sub>Y</sub>SF<sub>I</sub> satyrographos

#### **Build**

- opam install ./kyasualfi.opam to install packages
- make to build
- → slide.pdf should be generated

### **How to Use**

### 基本的には,普通の SLYDIFI と同じです.

- または,これと slide.tex を眺めてください.
- 要望があれば、ドキュメントを追加します.
  - ◆ 要望は, issue か @kyawaway へお願いします.

## セクションスライドの 具体例

## フレーム作成 in SLyDIFI

- フレーム:スライド資料の1ページ1ページに値するもの
- SLyDIFTでは3種類のフレームを区別する
  - ◆ 見出し:スライド全体の題目、発表者名などを載せるフレーム
  - ◆ セクション見出し:セクションのタイトルを載せる
  - ◆ 本文:通常のフレーム

### テキストの記述

以下のようなコマンドを用いてテキストを記述できる:

- +p{}:段落
- +listing{}:番号のない箇条書き
- +enumerate{}:番号付きの箇条書き
- +itemize<>: 高度な箇条書き

インラインテキストの中では以下のマークアップが使える:

- \emph{}:強調
- \text-color(){}:文字色変更

### +itemize コマンド内では特殊な箇条書きコマンドが使える:

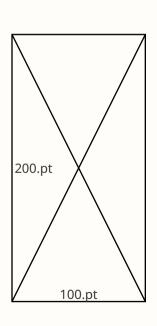
- +thusitem{}<>:
  - → これは、+thusitem コマンドの例です.
- +okitem{}<>:
  - ✔ これは、+okitem コマンドの例です.
- 項目3

6/11

## 図表の貼り付け

### (FigBox モジュール)

- 例: +fig-center(FigBox.include-image 80pt `path/to/image.jpg`);
  - ◆ FigBox.include-image :画像 (PDF/JPEG) を指定幅で読み込む
  - ◆ +fig-center : 読み込んだ図を中央揃えで配置
- 便利関数,コマンド
  - ◆ dummy-box : 指定されたサイズのダミーボックス
  - ◆ hmargin :水平方向に指定された量の余白を付ける
  - ◆ vconcat :鉛直方向に図を結合
  - ◆ \fig-inline : テキスト中 30.pt に画像を出力
  - ◆ +fig-on-right :画像を右に、本文を左に配置



### 数式は LATEX と同様に

$$E = mc^2$$
,  $F = G \frac{m_1 m_2}{r^2}$ ,  $x^x = e^{x \log x}$ 

といった要領で書くことができます.

```
1 +centering{
2   ${E = m c^2},${F = G \frac{m_1 m_2}{r^2}},
3   ${x^x = e^{x \log x}}
4 }
```

## 導出木 (Derive モジュール)

```
\wedge \ \mathbf{I} \frac{\vdash A \lor \mathbf{I} \frac{\vdash B}{\vdash B \lor C}}{\vdash A \land (B \lor C)}
```

```
${ \proven!(
     derive ${ \vdash A \wedge \paren {B \vee C} }
     |> by { ${\wedge} I }
     |> from [
         assume ${ \vdash A };
         derive ${ \vdash B \vee C }
         |> by { ${\vee} I }
         > from [
           assume ${ \vdash B };
10
         1; 1 }
```

これはテストです。

これはブロックのテストです.

#### これはブロックのテストです.

中には block text が入ります.

#### alert block

$$f = x^2 + 2x + 1$$

### example block

```
1 +block?:({これはブロックのテストです.})<
2 +code(CodeSyntax.satysfi)(~);</pre>
```

## 定義ブロック

これは定義ブロックのテストです。

#### 定義 1. タイトル

数式も入れられます.

#### 定理 2. タイトル

数式も入れられます.

#### 系 3. タイトル

数式も入れられます.

#### 補題 4. タイトル

数式も入れられます.